

近森会健康保険組合

事務局長 小松 左和

マイナ保険証を基本とする体制へ移行

2024 年 12 月 1 日で新規保険証の発行を終了し、発行済保険証の有効期限も 2025 年 12 月 1 日で終了。職員のマイナ保険証保有率は低迷していたため広報活動に注力。申請出張サービスの利用等で、現在は 86%まで上昇しました。

職員健診データがマイナポータルで閲覧可能に

職員健診の結果を 40 歳未満も含めて支払基金に随時提出開始。その結果、マイナポータルで各自閲覧可能となりました。

乳がん検診を近森病院で

これまで検診バスで行っていた乳がん検診は、今年からは近森病院の乳腺外科で受けられるようになりました。近森病院ではより精度の高い 3D マンモグラフィ（トモシンセシス）を導入しています。

家庭常備薬の斡旋と補助

福利厚生倶楽部（リロクラブ）は利用率と費用対効果に鑑み 2025 年 9 月 30 日退会。代替として、セルフメディケーション推進の観点から家庭常備薬の斡旋と 2,000 円の補助を実施しました。

健康セミナーの開催

「婦人科医に聞く 生理痛・PMS・更年期障害の治療法、対処法」をテーマに医療法人薫風会 けやまクリニックの毛山 薫先生を招聘。女性特有の健康課題における経済損失から対処法まで幅広くご講演いただきました。

その他の保健事業

- ・乳がん検診・子宮頸がんバス検診を隔年実施から毎年実施に変更
- ・骨密度検診を毎月実施
- ・糖尿病予防：保健師による指導の実施および若年層へのリーフレット配布

ワクチン薬剤代補助実績数

ワクチン	2025 年度	2024 年度
インフルエンザ	1,525 件	1,523 件
コロナ	331 件	208 件

主な検診等実績数

健診・検診	2025 年度	2024 年度
胃がん	30 件	31 件
子宮頸がん	93 件（バス 79+外部 14）	235 件（バス 202+外部 33）
乳がん	152 件	---
大腸がん（C S）	12 件	6 件
大腸がん（便潜血）	99 件	135 件
前立腺がん	13 件	16 件
歯科健診	85 件（院内 40+外部 45）	79 件（院内 48+外部 31）
脳ドック	8 件	7 件

被保険者数等の推移（年間平均数）

種 別		2025 年度	2024 年度
被 保 険 者 数	男	511 人	504 人
	女	1,244 人	1,225 人
	計	1,755 人	1,729 人
平 均 年 齢		38.53 歳	38.41 歳
介護保険第 2 号被保険者数		773 人	739 人

保険料率（労使折半）

保険料率（一般勘定）	2025 年度	2024 年度
一般保険料率	9.16%	9.16%
調整保険料率	0.13%	0.13%
合計	9.29%	9.29%

介護保険料率	1.69%	1.69%
--------	-------	-------

保険給付費の推移と一覧

種 別		2025 年度	2024 年度
保 険 給 付 費	金 額	392,084,102 円	378,927,279 円
	対前年度増減額	13,156,823 円	▲22,328,619 円
	対前年度増減率	3.47%	▲5.56%
被保険者 1 人当 りの保険給付費	金 額	223,410 円	219,160 円
	対前年度増減額	4,250 円	▲9,869 円
	対前年度増減率	1.94%	▲4.31%

その他

- 1 月 健保組合保健事業アンケート結果公表、W e b ウォーキング大会
- 2 月 組合会開催（事業計画案、予算案承認他）、医療費通知、健康セミナー開催
- 3 月 予算書提出、ジェネリック通知書配布、任意継続者へ納付書送付
- 4 月 入社式にて健康保険組合の講話と冊子「新入職員の健康プラン」を全員に配布
- 5 月 決算見込表提出、骨密度検診毎月募集開始
- 6 月 内部監査実施、データヘルス計画実績報告、広報誌「はつらつ」発行
健康管理推進委員会（前年度の実績報告）、扶養家族に特定健診の案内と無料券発送
- 7 月 組合会開催（前年度事業・決算報告）、委員会コラボ「近森フェス」参加
ヨネッツこうち割引券・回数券配布
- 8 月 特定保健指導対象者に案内、おロケア募集、家庭常備薬の斡旋案内
- 9 月 扶養家族検認、決算概要表提出、基幹システムP C入替
- 10 月 前年度特定健診・指導実績報告、医療費通知・ジェネリック通知書配布
乳がん検診、喫煙者に禁煙サポートの案内
- 11 月 資格確認書一括交付、広報誌「はつらつ」発行、糖尿病予防巡回指導、
歯科集団健診、のいち動物公園健康ウォーク、子宮頸がんバス検診
- 12 月 大腸がん（便潜血）検診募集、前立腺がん検診募集

議員一覧と事務局

(任期 2024. 10. 15～2027. 10. 14)

	選定議員	互選議員
理 事	（理事長）入江博之	三木俊史
理 事	（常務）寺田文彦	筒井由佳
理 事	岡本充子	高芝 潤
議 員	和田恵美子	森本志保
議 員	中山明守	西川恭平
議 員	戎 正司	濱口晃輔
監 事	谷 知明	西森千景

近森会健康保険組合 事務局

事務局
事務局長 小松左和 井門加織 入野 愛

総括

旧保険証は 2025 年 12 月 1 日で有効期限切れとなったが、事前周知や必要者への資格確認書発行により、大きな混乱なくマイナ保険証を基本とする体制に変更することができました。

保健事業については、近森病院の乳腺外科で乳がん検診を実施できるようになり、精度が上がったことが大きい。また、福利厚生倶楽部の利用周知に努めてきましたが都市部と違い、高知県での利用可能施設が少ないことから、9 月末で契約を終了。代わりに家庭常備薬の斡旋と補助に切替えた結果、職員からの評判がよく、セルフメディケーションの観点からも継続したい事業となりました。

また、全年齢の職員健診データを支払基金に随時提出することにより、マイナポータルで健診結果がいつでも閲覧でき、受診時にも提示可能となりました。40 歳未満の健診データも分析できるようになったため、特定保健指導の対象になる数値の若年層にリーフレットを配布し、生活習慣を見直す働きかけを行いました。全年齢層のデータ分析が出来るようになった意義は大きく、後回しになりがちな若年層の健康管理に役立てていきたい。

ウォーキングイベントもグループ対抗や個人参加型など、アプリを使ったものが定着してきました。今後、高知家健康パスポートの事業所版を利用して、独自のイベントを企画していく予定です。一方で、高知連合会主催ののいち動物公園の集合形式のウォーキング大会も好評でした。

総じて、コロナ禍で停滞気味であった健康保険組合の活動が活発になってきました。